

平成28年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

リオで開催されたオリンピックでの日本人選手の活躍は、私たちに多くの感動と勇気をいただきましたが、市内の子どもたちも頑張っています。夏季休業期間を中心に各種スポーツ大会が行われており、全国中学校体育大会では、陸上の走り幅跳びの部での全国大会出場（参加標準記録到達、中国大会第8位）、中国大会ではバドミントン個人戦女子シングルス第3位、陸上男子1500mの部第4位、また、B&Gスポーツ大会中国ブロック大会ではカヌー競技小学生女子の部優勝、ローボート競技男子の部準優勝など健闘しています。教育委員会としても子どもたちの活躍を大変うれしく思っており、引き続き支援の充実に努めていきたいと考えています。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学力・学習状況調査について

平成28年度の「岡山県学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力・学習状況調査」の結果について概要をお知らせします。

岡山県の学力・学習状況調査は、本年度も中学校1年生を対象に、国語、社会、数学、理科の4教科で4月に実施されました。この学年は、昨年度実施された小学校6年生での全国調査結果と比較すると、数学、理科では県平均を上回るなど改善が見られますが、国語、社会は課題と

なっています。

市独自の学力・学習状況調査は、小学校4年生・5年生と中学校2年生を対象に、国語と算数、数学の2教科で実施しました。小学校4年生の算数を除き目標値と同等か上回る結果となっています。

両調査を通じて、学習面においては、資料や情報から課題解決に必要な情報を取捨選択することについてはやや改善が見られたものの、条件に合わせて理由等を説明する表現に関する問題については課題が見られます。

生活面においては、家庭でゲームをする時間や携帯電話、スマートフォンの使用時間が1時間より少ない生徒は、それ以上の使用時間の生徒より、正答率が高い傾向が見られています。

学力・学習状況調査は、児童生徒の学力面と生活面の実態や課題を的確に把握し、各学校の実情に応じた取り組みや児童生徒の実態に応じた指導を進める上で、貴重な資料となっています。

今後も、学力・学習状況調査の結果を真摯に捉え、教師の授業力と児童生徒の学習意欲の向上に生かしていきます。

○ 平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰について

PTAの本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を挙げているPTAとして、今城幼稚園PTAが文部科学大臣表彰を受けました。全員参加型の今城幼稚園PTAは、PTAが中心となった交通安全教室の開催、交通安全推進のための案山子づくりや、PTA通信、交通新聞の発行、学年を超えた親子活動の実施、地域活動への参加など、会員同士や地域とのネットワークを深めている活動が認められたものです。

今後とも、幼稚園とPTA、地域の連携を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいきます。

○ 図書館について

6月1日に開館した瀬戸内市民図書館は、7月末までに38,626人の来館者がありました。

また、貸出冊数は、市内全図書館の合計が、64,381冊でした。

この2カ月間に、一度でも貸出の利用をされた数を表す実利用者数は、全館で4,554人でした。市民の方々のうち、12%の方が、この2カ月間に図書館で本を借りています。

赤ちゃんから、小中学生、高校生や大学生、社会人の方から高齢者の方々まで、幅広い層の市民の皆さまにご来館、ご利用をいただいています。

今後、市民の皆さまのニーズを的確に捉え、さらに多くの皆さまにご利用をいただき、市のまちづくり、ひとづくりに貢献できる図書館へと発展させていきます。

○ 備前長船刀剣博物館の特別展について

備前長船刀剣博物館では、平成23年度から毎年夏休み期間に合わせて実施している若者向けの刀剣展として、今年も7月16日から9月19日まで「薄桜鬼 刀剣録 ～幕末維新の刀剣展～」を開催しています。今回の特別展は、幕末維新を主なテーマとし、ゲームやアニメ、ミュージカルなど幅広く展開する「薄桜鬼」という作品とのコラボレーション展です。生麦事件や神戸事件に関する刀剣や遺書、土方歳三や武市半平

太、西郷隆盛が実際に所持していた刀剣などを展覧することで、刀剣のみならず、幕末維新の歴史を顧み、懸命に生きた武士の心を感じていただくことも意図しています。

初日は開館前から約100人の方々の行列もできるなど、オープンから約2週間で5,000人の方々にご来場いただきました。

昨年より、フランスからのツアーバスの来場が増え、年々海外からのお客さまも増加傾向にあるなか、今後、英語やフランス語を中心とした映像の字幕化や案内看板、パンフレットを制作し、国際化へ備えたいと考えています。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

瀬戸内市立美術館では9月3日から10月23日まで、特別展「森陶岳の全貌展—あくなき挑戦の軌跡—」を開催します。岡山県重要無形文化財保持者であり、また、このたび瀬戸内市名誉市民に選ばれた森陶岳氏が成功した空前の大窯プロジェクト。この世紀の大挑戦に至った道をたどり人間像にスポットを当てる展覧会です。初期の代表作から最新作まで、同氏の各時代の足跡を網羅した回顧展であり、全国の所蔵家、東京・京都の国立近代美術館などから作品を集め、9割が岡山では初公開作品となる、大きな注目を集める展覧会です。

9月18日及び10月2日には牛窓町公民館において、同氏による講演会を開催するとともに、同氏の名誉市民称号授与を記念して10月2日には人間国宝美術館長の^{やべよしあき}矢部良明氏による講演会を併せて開催します。

また、開会中の土曜日、日曜日及び祝日には美術館において館長等によるギャラリートークを行うほか、寒風陶芸会館主催による大窯見学を

開催することとしています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成28年8月31日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次